

2022年3月期決算説明会資料

株式会社 **メルコホールディングス**

2022年5月

1. 2022年3月期 決算概要	P.2
2. 重点取組み報告	
・ IT関連事業	P.13
・ 食品事業	P.25
3. 2023年3月期 業績予想・ 資本政策の基本的な方針	P.31
4. メルコグループのご紹介	P.35
5. 参考資料	P.40

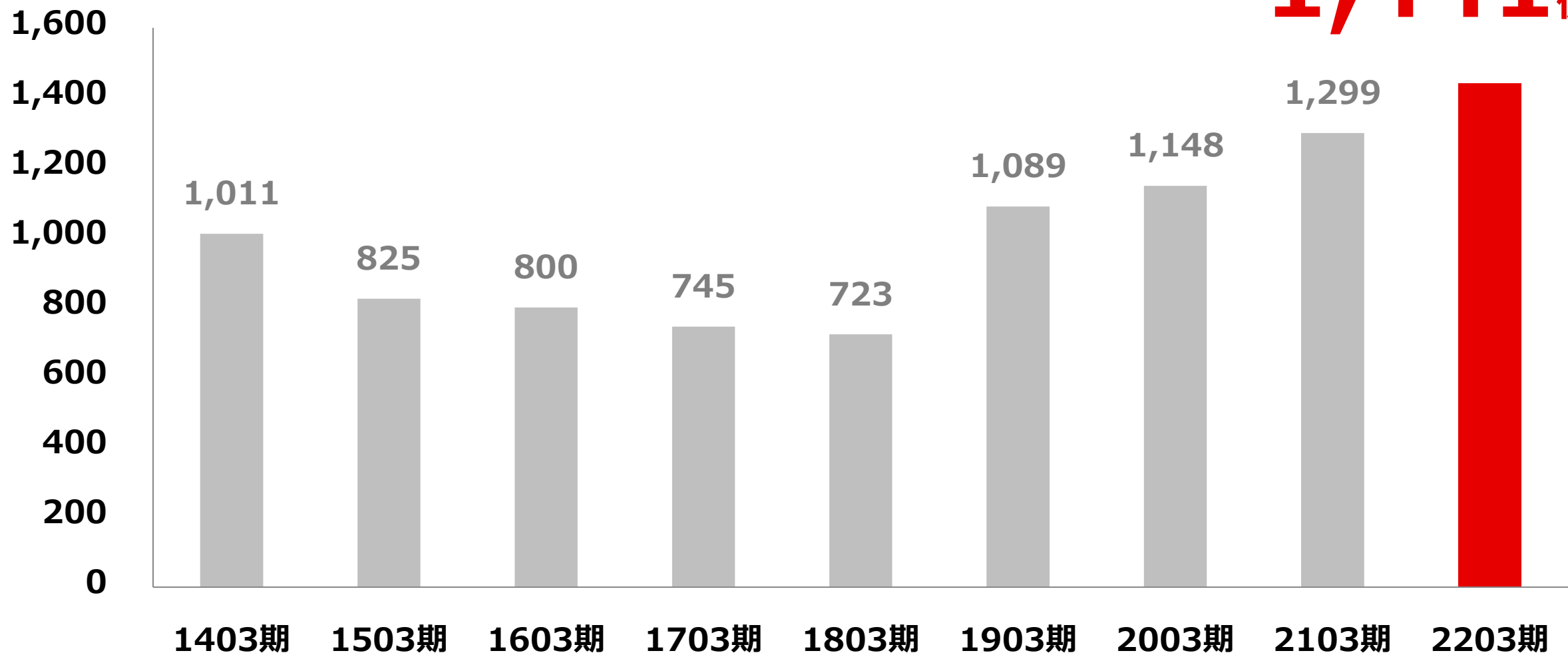
- IT関連事業での増収増益により、2203期の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は、何れも通期業績予想を上回って着地

単位：億円	2103期末 実績	2203期末 実績	前期比 増減率	2203期末 (2021年4月27日公表)	
				業績予想	達成率
売上高	1,299	1,441	—	1,400	103.0%
営業利益	88	126	43.5%	97	130.9%
経常利益	90	130	44.2%	100	130.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	66	93	41.1%	72	129.8%

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっておりますが、2021年3月期に係る各数値については遡及適用を行っておりませんので、2022年3月期の売上高の対前年増減率は記載しておりません。

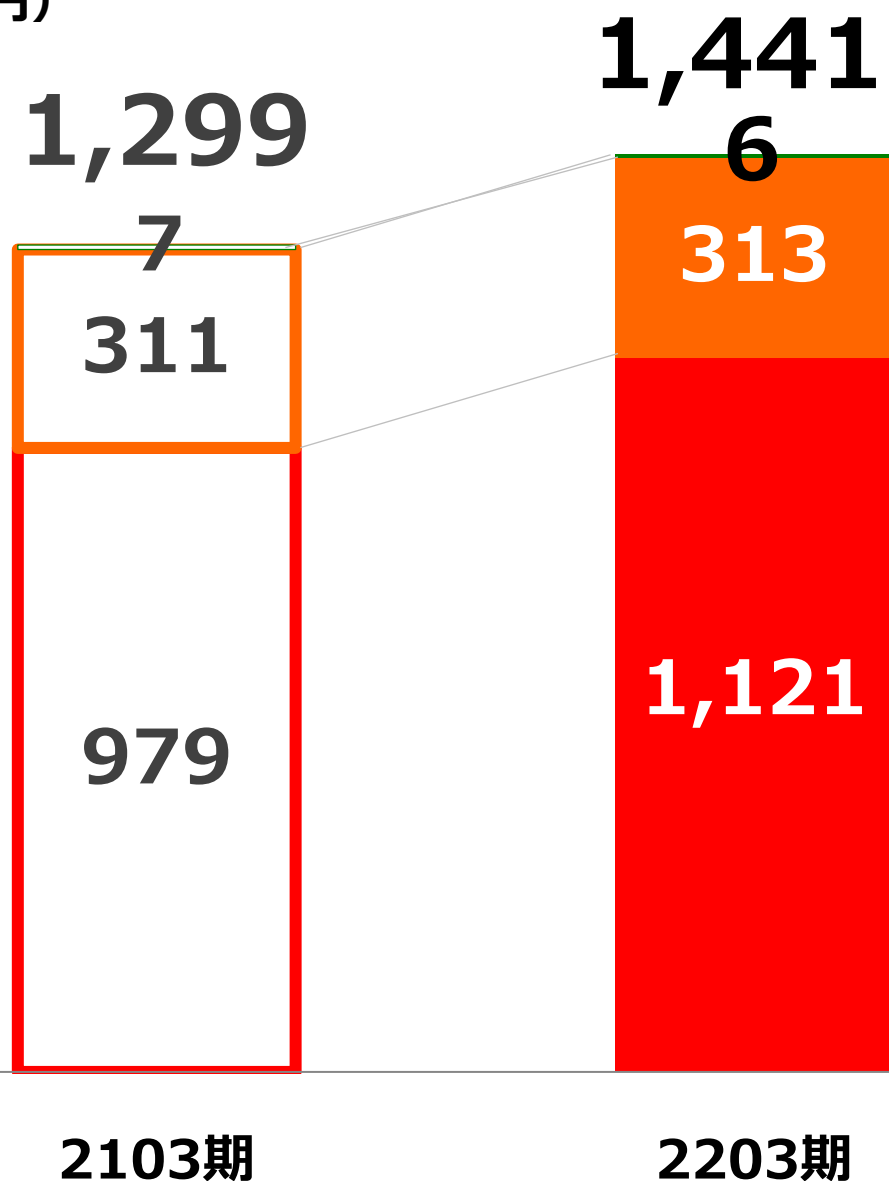
※億円未満は切り捨てて表示しております。

(億円)



※億円未満は切り捨てて表示しております。

(億円)



※億円未満は切り捨てて表示しております。

IT関連事業

構成比 : 77.8%

個人・法人向け高付加価値商品の拡販に注力
Airdog、AMD社製CPU「RYZEN」の販売も好調に推移

食品事業

21.7%

家庭用は前年特需の反動、天候不順の影響もあり売上減
業務用は前年大幅減の反動、新規先開拓等により売上増

金融事業

0.5%

引き続き、難しい運用環境により預かり資産が減少

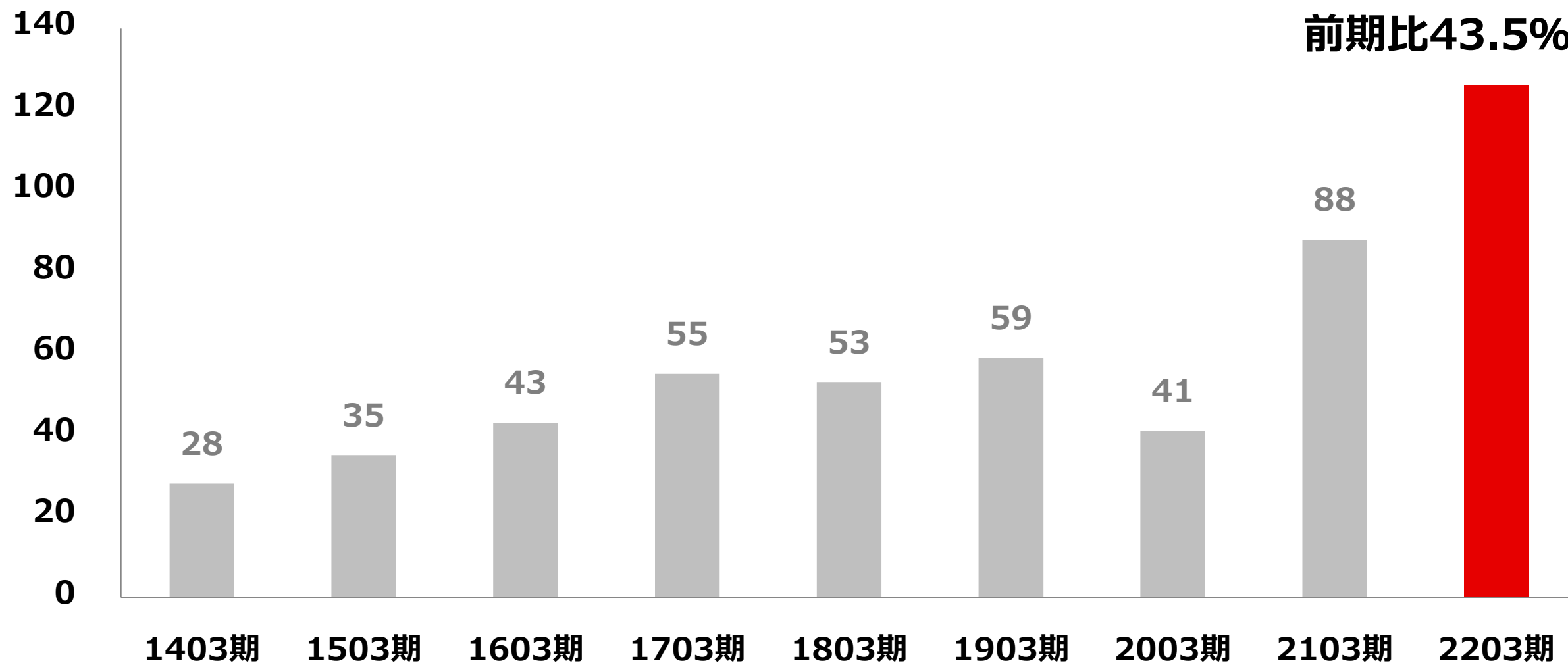
※AMD、Ryzen及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

上場来最高

126億円

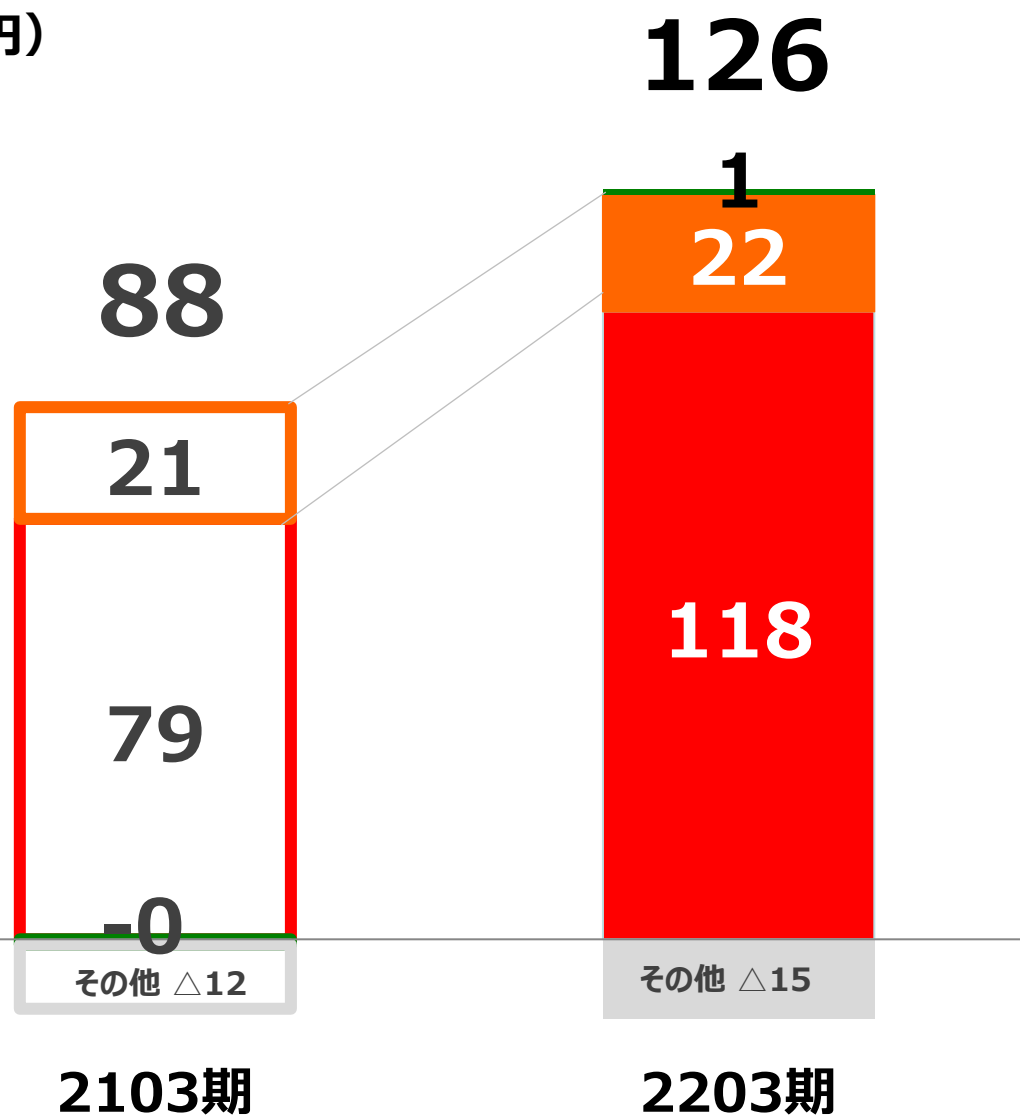
前期比43.5%増

(億円)



※億円未満は切り捨てて表示しております。

(億円)



IT関連事業

構成比：83.2%

前期比 48.9%増

高付加価値商品やAirdog等の拡販が寄与するも、価格競争激化や原材料価格の高騰等により厳しい収益環境

食品事業

15.6%

前期比 1.5%増

原材料・資材やエネルギー価格が上昇する中、引き続き商品原価の低減や経費削減に取り組み増益確保

金融事業

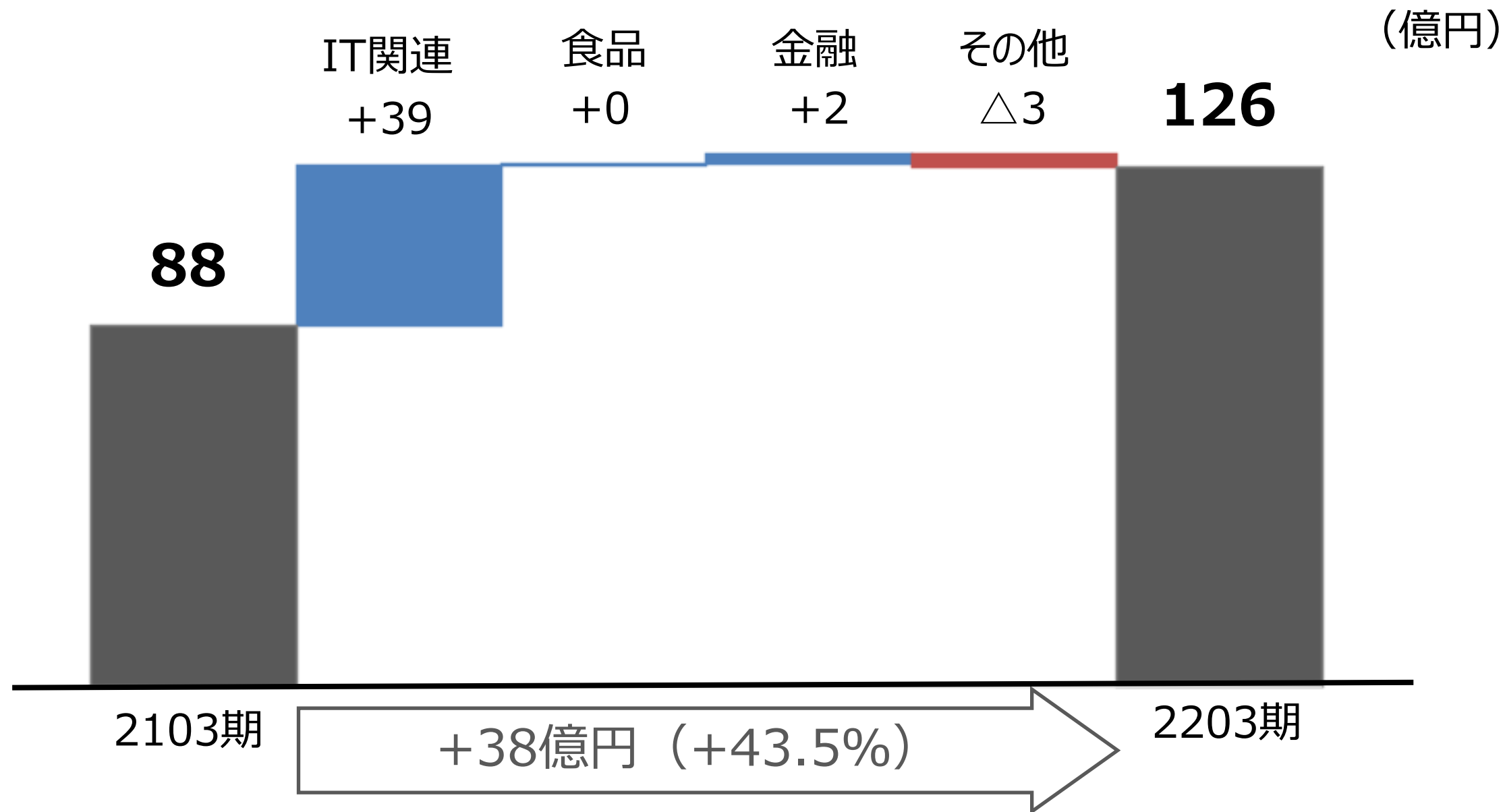
1.2%

前期比 2.3億円増

経費削減効果により黒字化

※その他：報告セグメントに含まれない事業セグメント損益、セグメント間取引消去

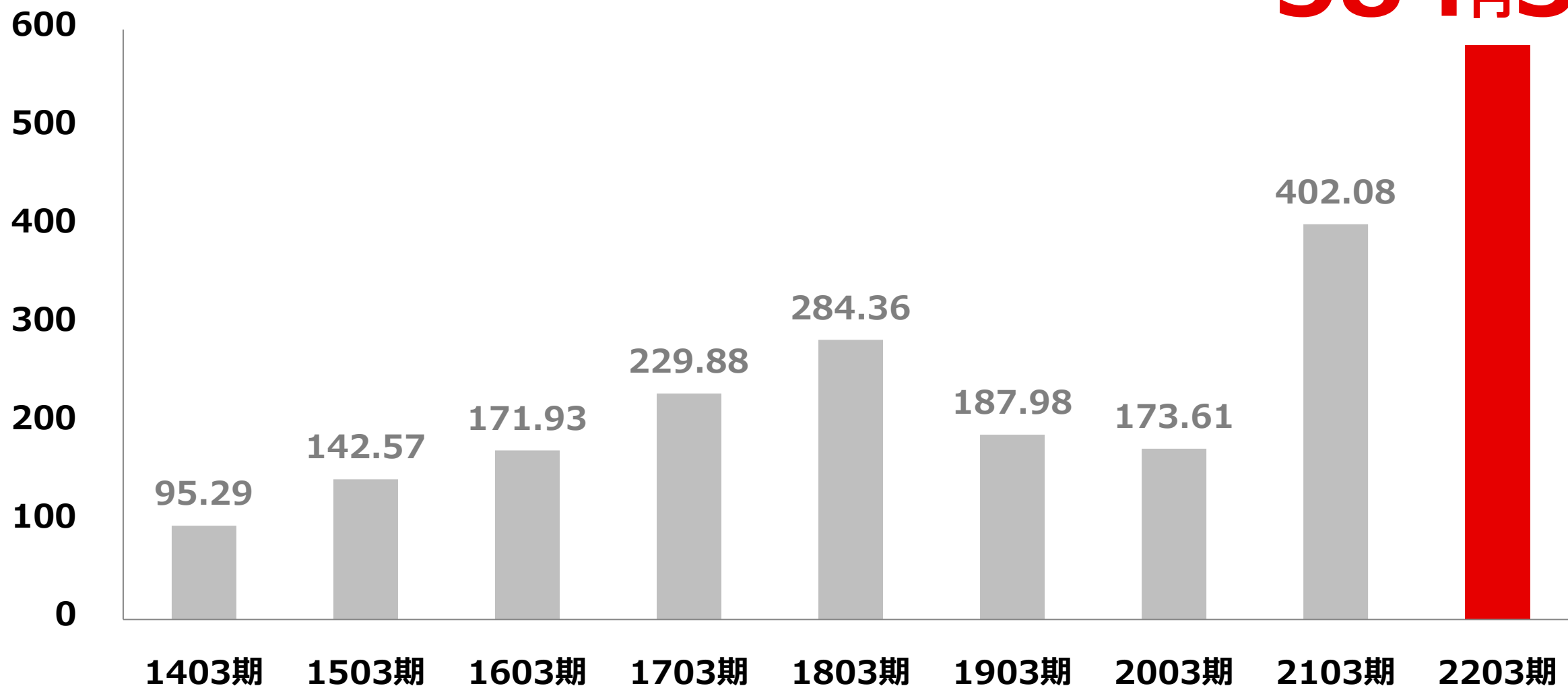
※億円未満は切り捨てて表示しております。



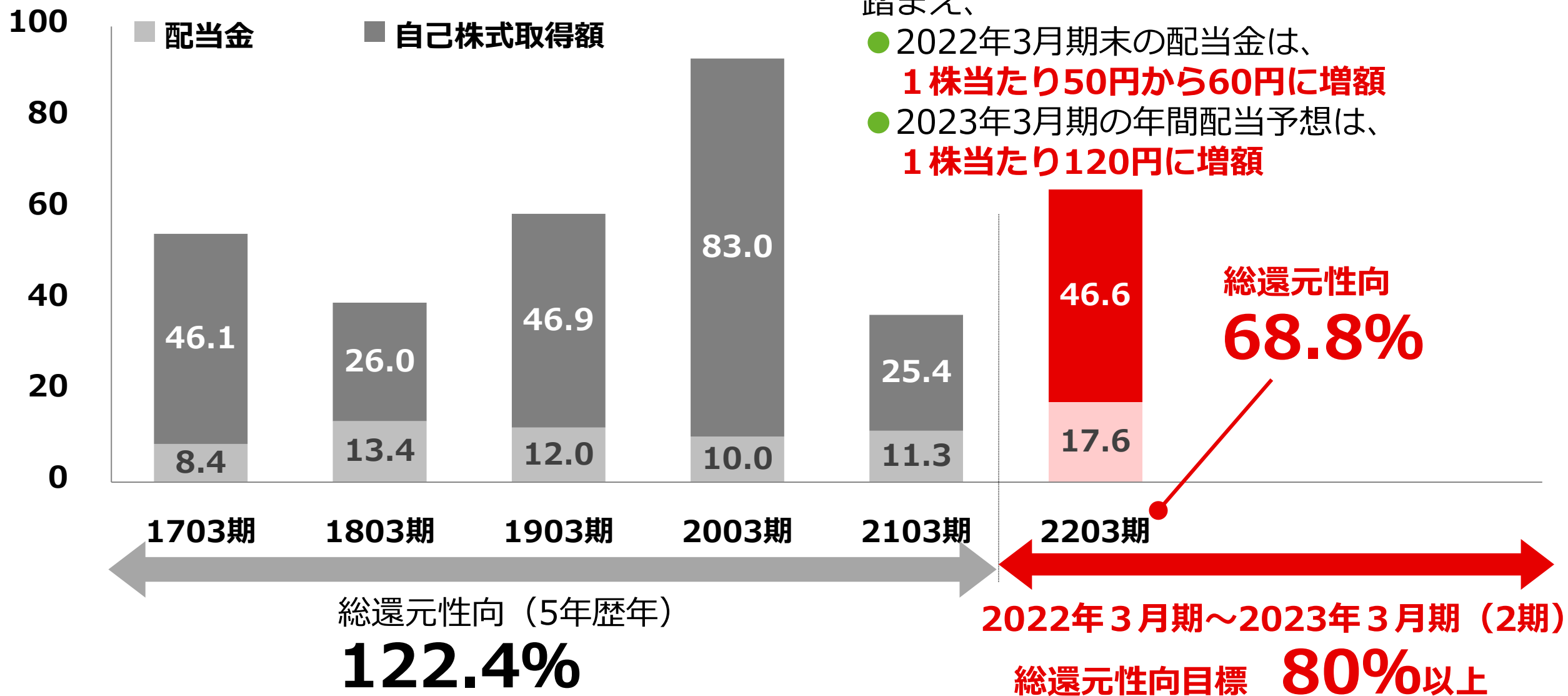
(円)

上場来最高

584円32銭



(億円)



※総還元性向 = (配当金支払総額 + 自己株式取得総額) ÷ 当期純利益
但し、自己株式処分金額は除いて算出しております。

単位：百万円		2103期末	2203期末	差異
流動資産		67,759	69,722	1,962
	現金及び預金	29,663	21,834	△ 7,829
	受取手形及び売掛金	14,578	15,930	1,352
	棚卸資産	13,790	21,812	8,022
	その他の流動資産	9,727	10,144	417
有形・無形固定資産		12,521	13,045	523
投資その他の資産合計		5,520	13,030	7,509
資産合計		85,802	95,798	9,995
流動負債		29,160	29,618	458
	支払手形及び買掛金等	14,761	14,274	△ 487
	未払法人税等	2,101	1,507	△ 594
	その他の流動負債	12,296	13,836	1,539
固定負債		4,449	3,056	△ 1,393
負債合計		33,609	32,674	△ 934
純資産合計		52,193	63,123	10,930
負債純資産合計		85,802	95,798	9,995

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

単位：百万円		2103期末 実績	2203期末 実績	増減
設備投資		1,721	2,434	713
	有形	1,205	1,336	131
	無形	515	1,098	583
減価償却費		2,395	2,280	△115
	有形	2,027	1,849	△178
	無形	369	430	61
研究開発費		2,923	3,468	545

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

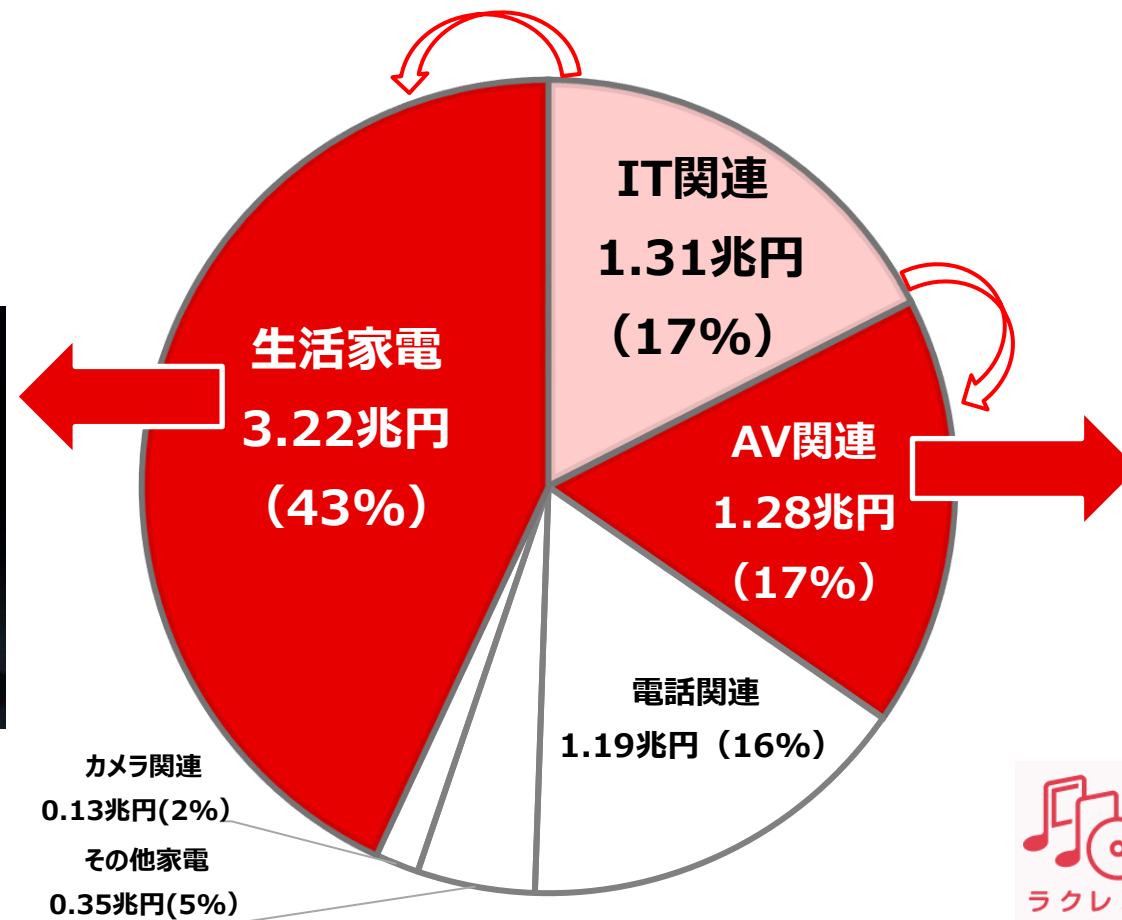
2. 重点取組み報告

IT関連事業

パワースブランディングの推進

toCconnect

● 海外商品ブランディング



国内家電市場：約7.5兆円（2020年度）

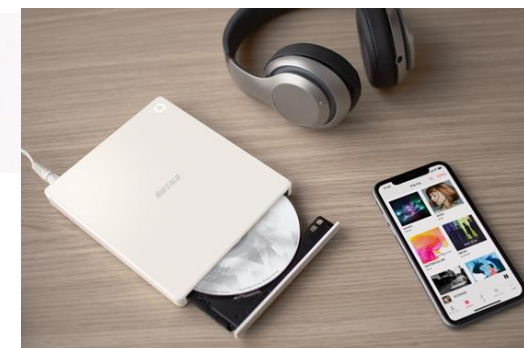
※第三者機関データを元に集計・加工

BUFFALO™

● 継承商品ブランディング



● 自社商品ブランディング



※「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。

Airdog 日本唯一の正規販売代理店：株式会社トゥーコネクト toCconnect

海外商品ブランディング



累計販売台数30万台突破

(2022年3月末現在、Airdog X8 Pro・X5s・X3sの累計販売台数)

● **全国10,000以上の医療施設が導入**
(2022年3月末現在、トゥーコネクト社調べ)

様々な業界の感染対策に貢献

Airdog x 高 Takashimaya



株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの協力のもと「nasne(ナスネ)®」を継承

継承商品ブランディング

メディア・アワードで高評価を獲得！

nasne®



※視聴イメージです。実際の表示とは異なる場合があります。



nasne® NS-N100は日経MJ2021年ヒット商品番付に掲載のほかお客様の反響も高く、また様々なメディアでご評価いただいています。

お客様のITに関する課題をワンストップで解決！ “まるごとバッファロー”の展開



データ復旧サービス



安定してつながるストレスフリーな
Wi-Fi環境を構築したいそのあなた

今なら
現地調査 **0円**

調査から施工まで**Wi-Fi導入**
まるっとバッファローにおまかせ



※現地調査0円キャンペーン

・対象社数：先着100社様

・キャンペーン期間：2022年4月6日（水）から 2022年12月31日（土）

・対象の事業者様：全国の私立学校様、保育施設様、介護施設様、病院様、建築・建設会社様、小売店様

BUFFALO



SAISON
INFORMATION
SYSTEMS

株式会社 セゾン情報システムズ

灘中学校・高等学校 様

生徒様一人ひとりが最適な学習方法を自由を選択できる環境を目指し、123台の無線LANアクセスポイントによる新たな校内ネットワーク環境を構築

- 同時アクセスに強い無線LANアクセスポイントを設置
- 安定した通信を継続できるDFS障害回避機能と公平通信制御機能を備えた機器を選定



DFS障害回避機能搭載トライバンド法人向け無線LANアクセスポイント



京都大学医学部附属病院 様

屋外用Wi-Fiアクセスポイント設置により、患者様が車内で待機する事で身体的な負担軽減や接触機会を減らすことを実現

- 高い防塵・防水性能に加え、直射日光のあたる場所への設置を可能とした耐環境性能無線LANアクセスポイントを設置



防塵・防水・耐環境性能
直射日光・屋外・寒冷地
設置対応
無線LANアクセスポイント



パートナー企業様

取引先企業様

**BUFFALO**™ “まるごとバッファロー”

パートナー・取引先企業様との取り組み お客様の抱えるITに関する課題解決を“まるごと”支援

パートナー企業様



取引先企業様

Gakken

※パートナー企業様・取引先企業様：それぞれアルファベット順に掲載しております

その他多数の企業様とお取引させて頂いております

TeraStation × HULFT IoTで目指すこと

つなぐ技術で データの価値を高いステージに昇華させるソリューション

①通信の担保：NASに保存したデータの通信を約束、**安心・安全確実に**つなぐ

②制御の担保：データ連携プラットフォームにより**データ利活用**につなぐ

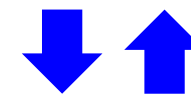
共同開発
接続性の担保

安心・安全確実に



①通信の担保

データの利活用



②制御の担保

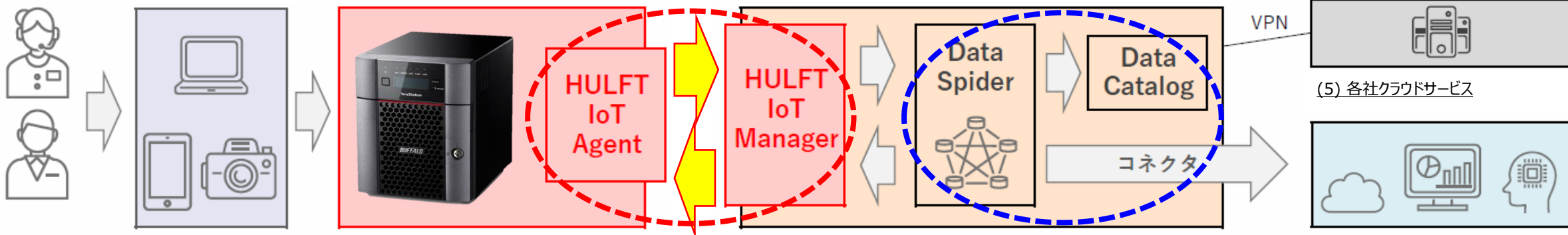
(1) PC・デバイス

(2) TeraStation

(3) データ連携プラットフォーム

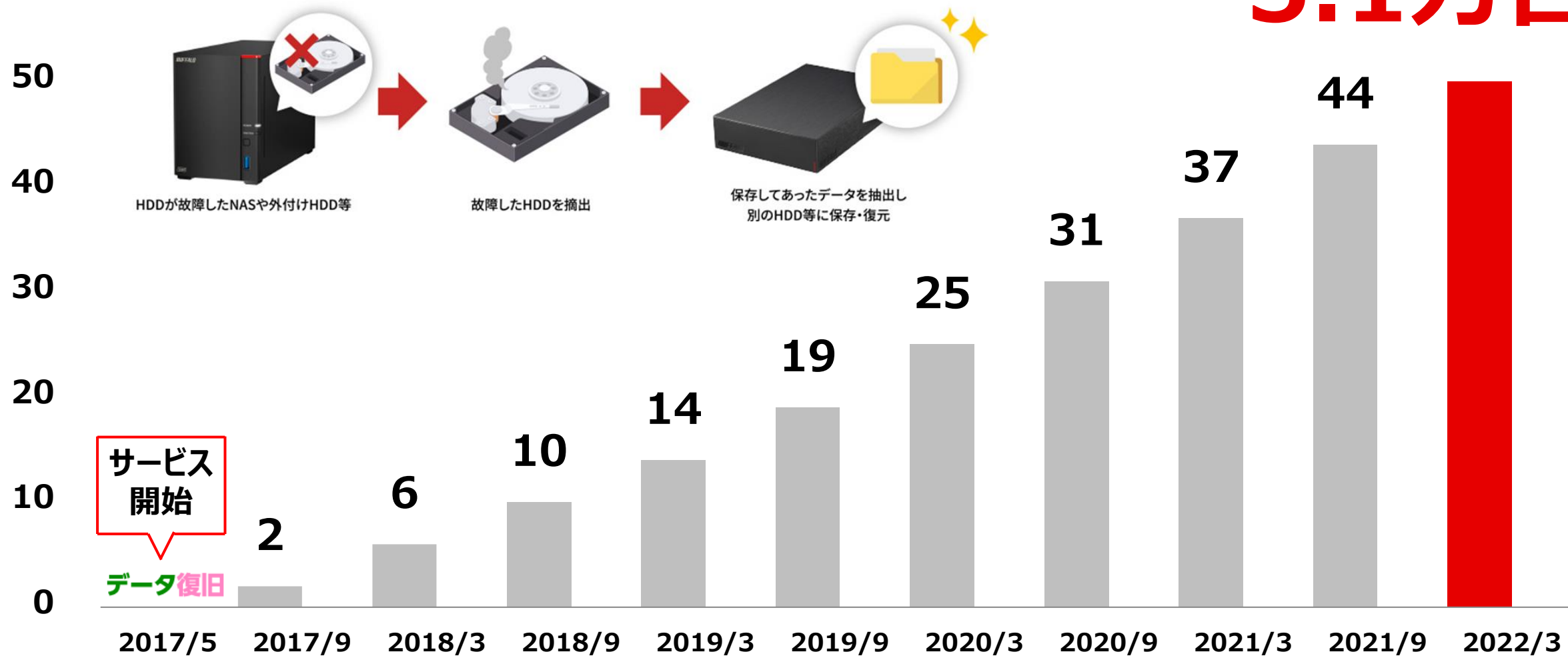
(4) オンプレ環境

(5) 各社クラウドサービス



累計受付件数
5.1万台

(千台)

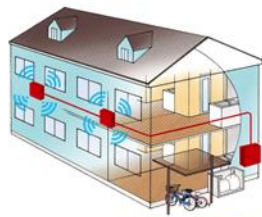


累計導入戸数
10.4万戸

(千戸)

120
100
80
60
40
20
0

空室対策・退去防止に
バッファロー・IT・ソリューションズの
「アパートWi-Fi」

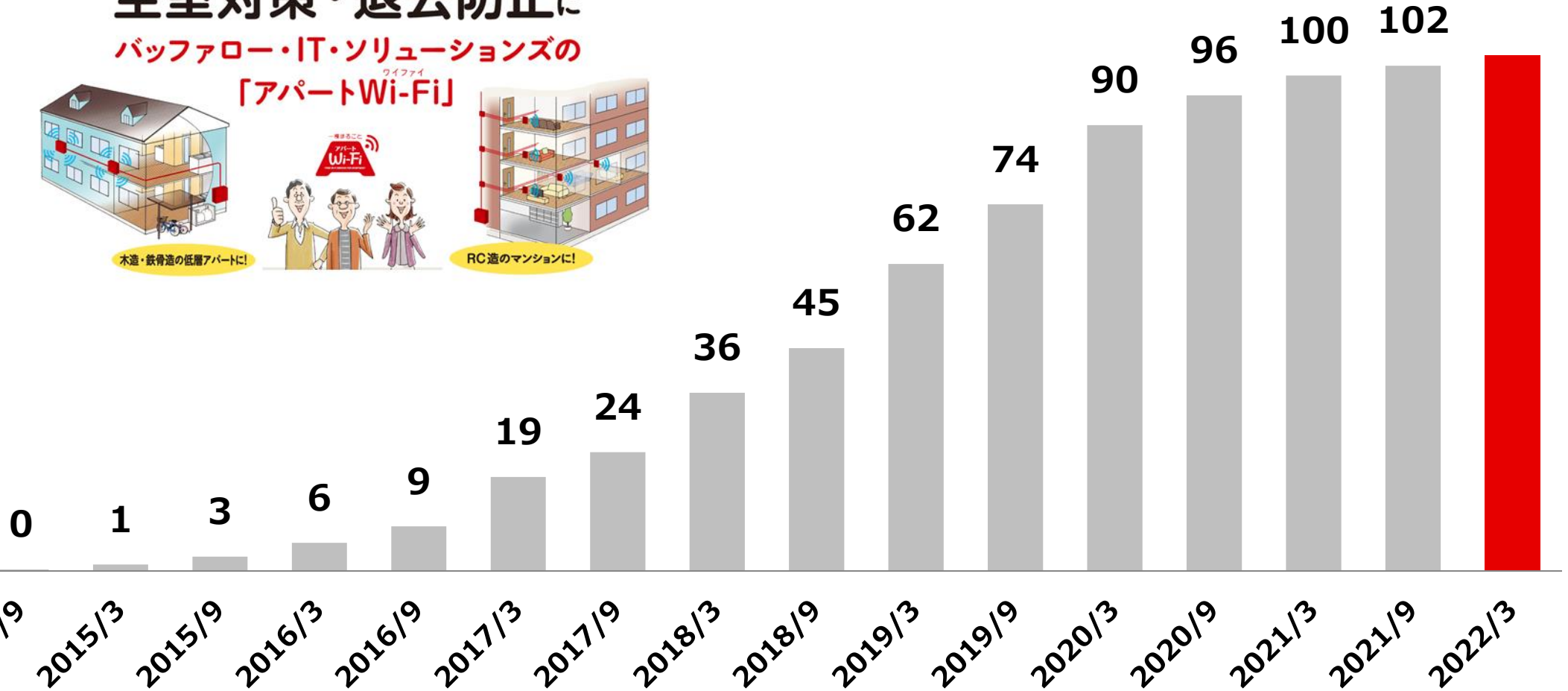


木造・鉄骨造の低層アパートに!



RC造のマンションに!

2014/9 2015/3 2015/9 2016/3 2016/9 2017/3 2017/9 2018/3 2018/9 2019/3 2019/9 2020/3 2020/9 2021/3 2021/9 2022/3



新型コロナウイルス感染症対策への支援として、全国大学にPD充電器を寄贈するプロジェクトを開始！



2022年3月の国立大学法人

東海国立大学機構名古屋大学贈呈式にて

(右) 松尾清一総長（当時）

(左) 天野浩教授

(中) 弊社代表取締役社長 牧 寛之



- 新大学生の学業や研究の後押しとして、**2022年4月より新生活をスタートする新大学生に向けて、小型・軽量化を実現したUSB Power Delivery対応パソコン用充電器の寄贈を行うプロジェクトを2022年3月から開始いたしました。**
- 本プロジェクトでは「安心して快適な学生生活を過ごしてもらう。」ことをミッションに掲げ、未来をつくる学生たちが安心して学業に専念できるように支援することを目的としており、すでに**国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、公立大学法人名古屋市立大学、早稲田大学**の3大学合計で約1万5千台寄贈させて頂いております。

愛知県知立市とバッファローが連携・協力に関する包括協定を締結

本協定を通して、パートナーシップをさらに強化し、SDGsの達成に資する取組を実施することにより、地域の産業等の振興を図り、生活の場としての安らぎ及びいきいきと活動している人が生み出すまちのにぎわいを創出し、その住みよさを誇れる『輝くまち みんなの知立』の実現に向けたまちづくりに貢献します。



知立市役所で行われた締結式では、知立市長 林 郁夫氏（右）と、弊社代表取締役社長 牧 寛之（左）が協定書に調印し、まちづくりへの貢献に向け連携・協力していくことを表明しました。

※2022年2月1日 バッファローのプレスリリースより



連携協定における具体的連携事項について（令和4年1月24日時点）



課題1
コロナ禍で大規模イベントを開催することが難しい…



連携事項1
バッファローが知立市に、イベントのオンライン配信のための機器貸出や技術支援等を実施！！



課題2
大規模災害発生時に円滑に罹災証明書を発行するための環境整備が必要…



連携事項2
円滑な罹災証明書の発行に向け、防災訓練での実証実験を実施！！



課題3
コロナ禍での臨時休校に備え及び不登校児童生徒への学習支援として、オンライン授業の環境整備が必要…



連携事項3
バッファローが知立市に、オンライン授業のための環境整備をするための技術支援等を実施！！



課題4
コロナ禍での生涯学習活動、講座、教室の開催支援として、オンライン講座の環境整備が必要…



連携事項4
市民向け講座、教室等の開催に向け、バッファローとの協働により、幅広い世帯に対応した技術支援・検証を実施！！



食品事業

● 当社を取り巻く環境

- ◆ 新型コロナの新たな変異株の発現と感染拡大による、活動制限と緩和の繰り返し
- ◆ 世界的な需要増加、気候変動、脱炭素化などの複合的な要因により、原材料・資材、エネルギーなどの価格が高騰
ウクライナ危機に伴い、更なる価格高騰や調達量の不足が懸念

● 食品事業の業績

売上高 : 家庭用チルドは減少も、家庭用冷凍・業務用冷凍が増加し、全体では増収

営業利益 : 前期末実施のマーケティング投資を積極的に実施

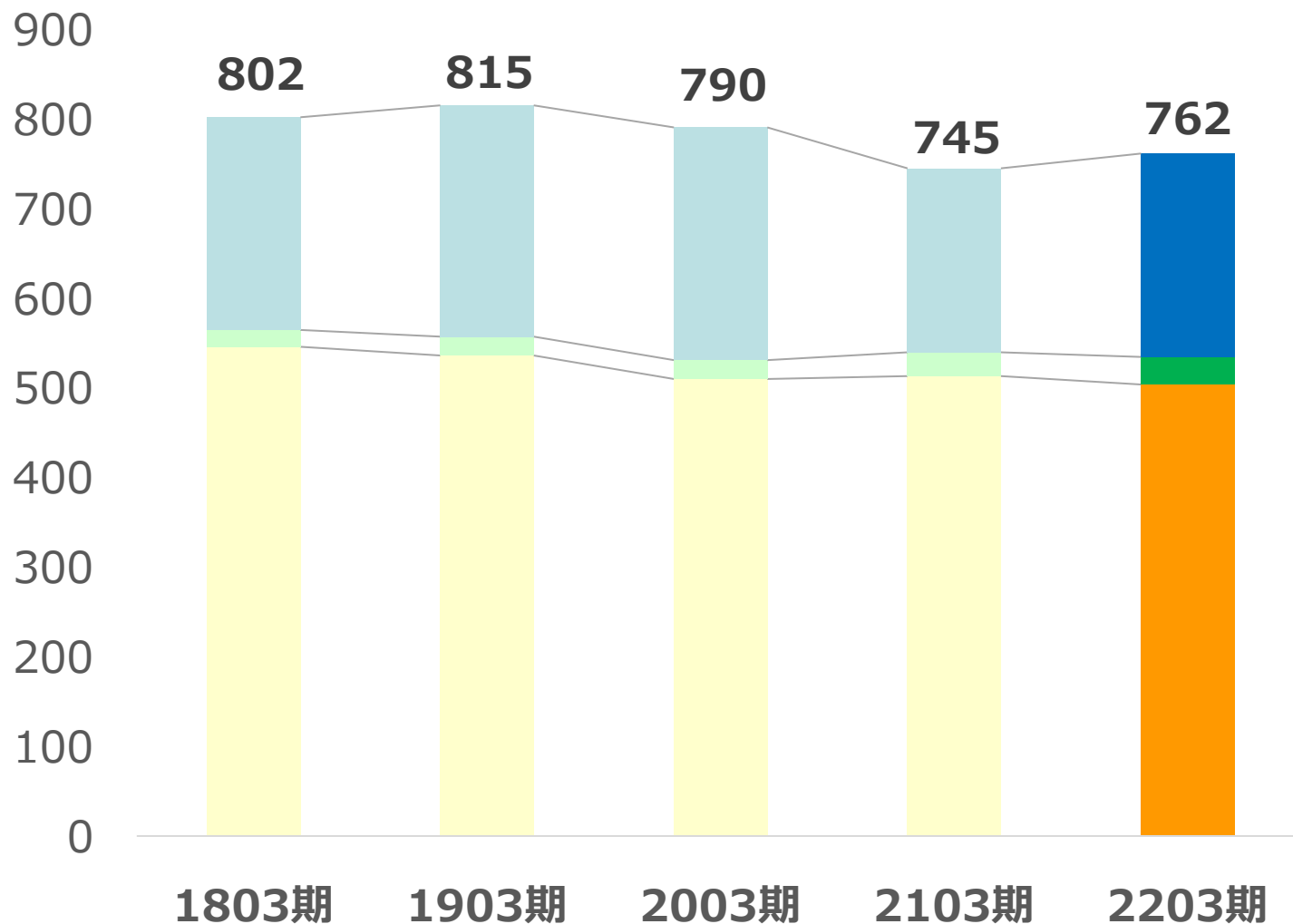
一方で、原材料・資材やエネルギー価格の高騰に対し、商品原価の低減や経費の削減に取り組むと共に、2022年3月1日より商品価格の改定を実施したこともあり増益

■ 家庭用チルド麺

■ 家庭用冷凍麺

■ 業務用冷凍麺

(百万食)



家庭用チルド麺

前期特需の反動や天候不順により減少
広告販促効果により焼そば類は拡大

家庭用冷凍麺

新規導入活動の継続により拡大
コロナ前（前々期）からは約5割増

業務用冷凍麺

前期大幅減少の反動と新規獲得により拡大
依然コロナ前の水準は下回る

「JCBギフトカード5,000円分プレゼントキャンペーン」＜全7回＞と
テレビCM放映 ＜全7回＞ を実施、新規顧客獲得とブランド認知向上

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キャンペーン	 焼そば 	 中華めん 	 「流水麺」 	 焼そば 	 「太鼓判」 							 国産素材 焼そば
CM	 焼そば 	 「流水麺」 	 「流水麺」	 焼そば 			 西日本専用 「太鼓判」 	 西日本専用 「太鼓判」 			 西日本専用 「太鼓判」 	

当社シェアの低いポテンシャルのある市場に向けての挑戦

家庭用チルド麺

西日本地区における

<うどん> のシェア拡大

●「太鼓判」国産小麦のうどん

- ・美味しさと日持ちを兼ね備えたうどん
- ・消費者キャンペーンとテレビCM放映

New
西日本専用

西日本地区で食数シェアアップ!!

「当社はうどんの全国シェアNo1です」

家庭用冷凍麺

素材麺の新規導入

● 稲庭風うどん

つるつるとした
のどごしの良さと
強いコシがある細うどん(国産小麦使用)



●「太鼓判」粘りごし讃岐うどん

- ・もっちりとした
弾力と強いコシ
(国産小麦使用)
- ・お取り扱い企業数
が拡大



導入拡大・食数シェアアップ!!

業務用冷凍麺

学校給食への新規導入

- 「健美麺」学給用食塩ゼロうどん
- 「健美麺」学給用食塩ゼロラーメン



- ・国産小麦使用
- ・食塩ゼロでも変わらない美味しさ
- ・取り分けしやすいよう短くカット

導入拡大・売上アップ!!

事業を通じて**SDG s**テーマに取り組み、**持続可能な社会へ貢献**
食品ロス削減や健康への寄与に加え、**環境(省エネ)**や**国産原料使用**へ対応

プラスチック使用量の削減

新たなトレーなし包装の採用や
トレーの薄肉化を実施

トレーのない
エコ商品♪



環境



再生可能エネルギーの活用

生産工場で太陽光発電設備導入を計画

国産原料使用により 食料自給率の向上に寄与



国産



家庭用チルドのうどん全商品で
国産小麦粉を使用

3. 2023年3月期 業績予想・ 資本政策の基本的な方針

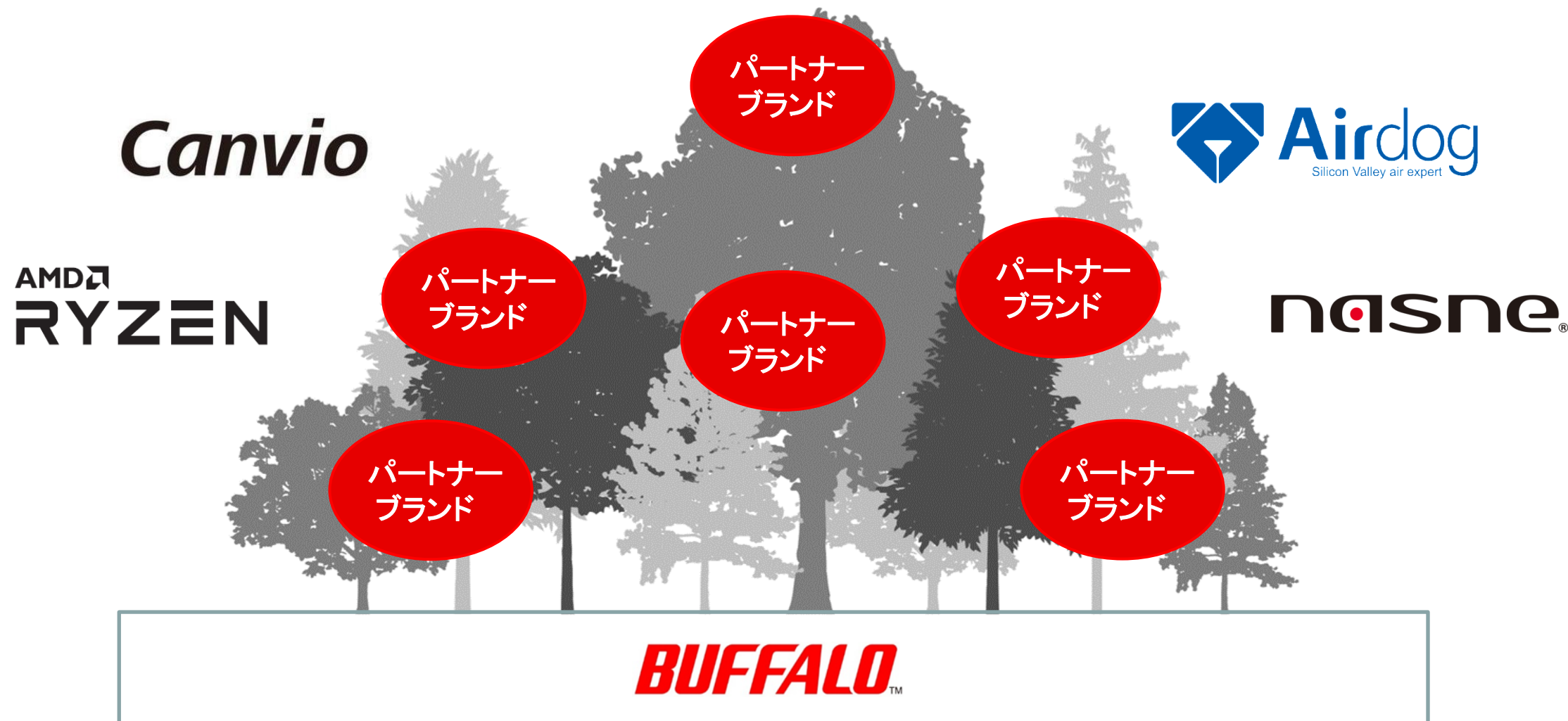
【事業環境の見通し/危機管理モード】

●新型コロナウイルス変異株の流行、半導体を中心とした各種部材の調達難や円安の進行、ウクライナ情勢の緊迫化と穀物等の調達原価の上昇やエネルギー価格の高騰等により、当社グループのビジネス環境は一段と厳しさを増すものと想定。

- IT関連事業：調達力を武器にさらなるラインナップ拡充・シェアアップを推進し、増収を目論む。
一方、利益に関しては、部材高騰による原価上昇・経費増加の影響等により大幅な減益を見込む。
- 食品事業：原価高騰に対する商品価格改定や生産効率化等の推進により、前期並みの売上高・利益を見込む。

単位：億円	2203期末 (実績)	2303期末 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,441	1,500	59	4.1%
営業利益	126	65	△ 61	△48.8%
経常利益	130	70	△ 60	△46.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	93	50	△ 43	△46.5%
1株当たり当期純利益	584.32円	296.32円		

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



- ※ 「Canvio」は東芝デバイス&ストレージ株式会社の商標です。
- ※ AMD、Ryzen及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- ※ 「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。

① 総還元性向80%以上を目標とする

※2022年3月期～2023年3月期までの2期

② 長期的な一株当たり利益の成長を目指す

成長への投資と安定した株主還元を両立し、長期的な1株当たり当期純利益の成長により持続的な株主価値の向上を図り、TSR（株主総利回り）を意識した事業活動を推進してまいります。

4. メルコグループの紹介

株式会社メルコホールディングス 純粋持株会社

IT関連事業

BUFFALO

デジタル家電・パソコン周辺機器メーカー
及びデータ復旧サービス

CFD

IT製品の総合サプライヤー

BUFFALO

IT Solutions

アパートWi-Fiなど自社サービスを展開

ADC Advanced Design Corp.
アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービスなど

BIOS

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

DigiOn

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

toCconnect

ダイレクトマーケティング事業

[海外] Buffalo Americas 他

食品事業



麺類及び関連食料品の製造及び販売

金融事業

メルコフィナンシャルホールディングス
グループにおける金融事業の統括管理

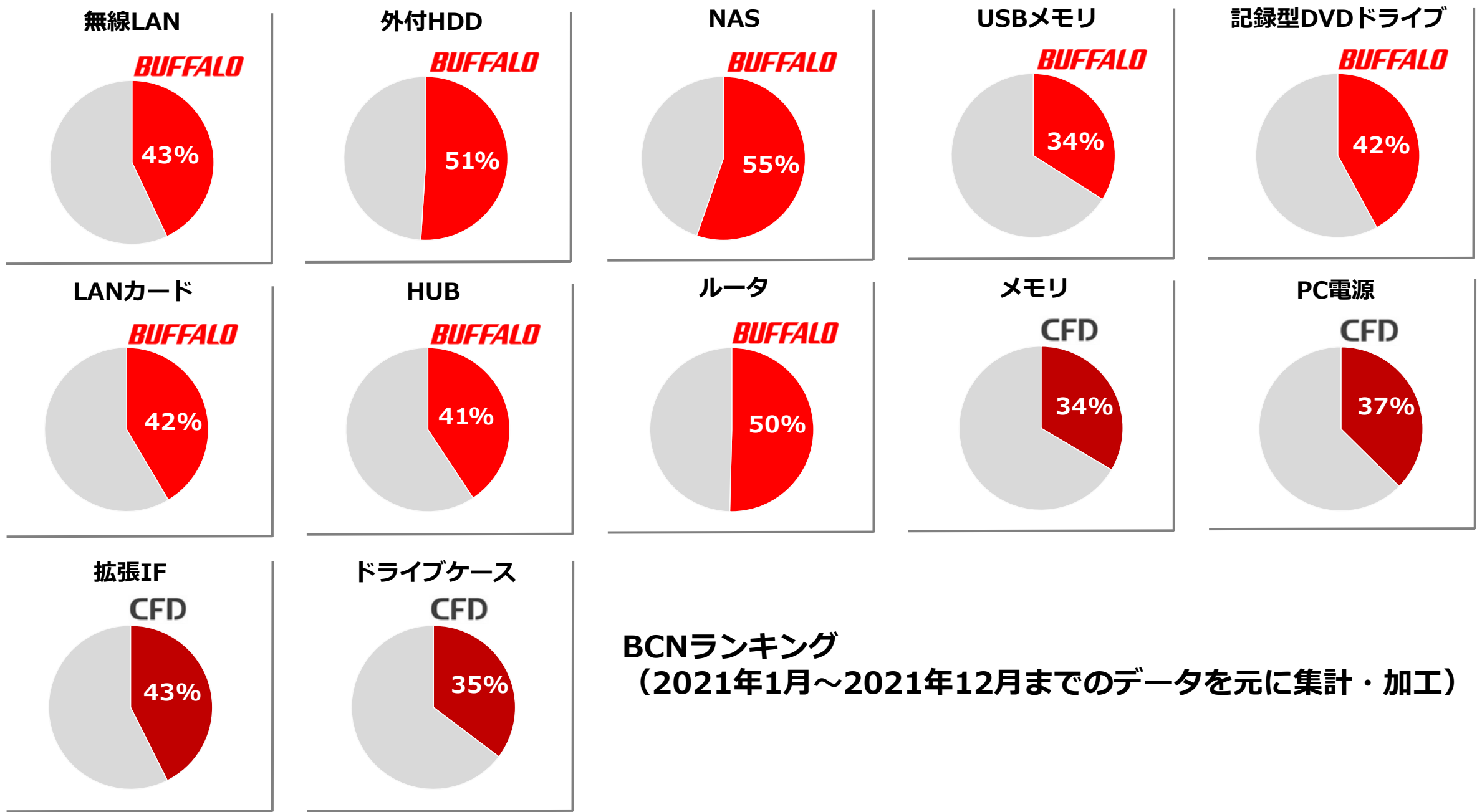
森の経営 外部環境の変化に機敏に対応、常に次の時代に備え芽を育てる

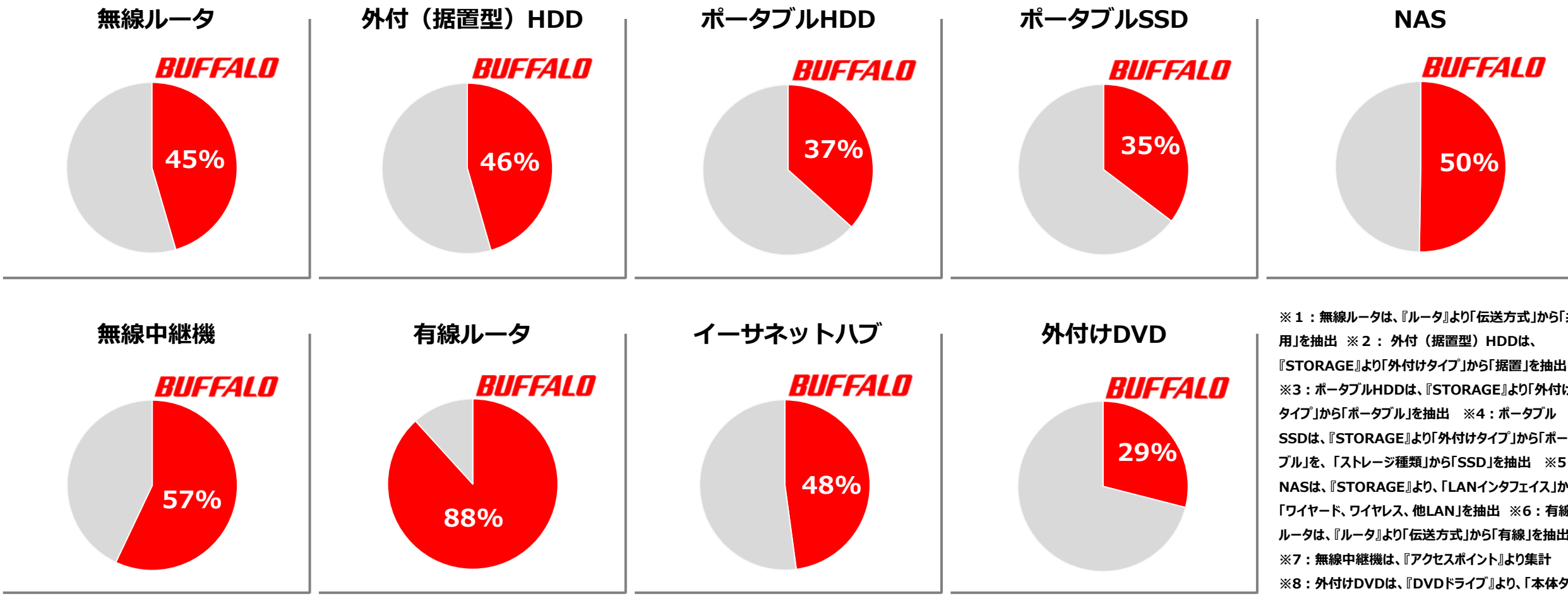


外的環境の変化に耐えうる、強固な事業 ポートフォリオの構築を目指す

- ◆ IT関連事業の収益力強化
- ◆ 高付加価値商品・サービスの販売拡大
- ◆ 食品事業の売上/収益の安定化
- ◆ 継続的なロスコストの削減
- ◆ 事業拡大のためのM&A など

⇒長期的な視点で企業活動を行なっていく





※1：無線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「共用」を抽出 ※2：外付(据置型) HDDは、『STORAGE』より「外付けタイプ」から「据置」を抽出
※3：ポータブルHDDは、『STORAGE』より「外付けタイプ」から「ポータブル」を抽出 ※4：ポータブルSSDは、『STORAGE』より「外付けタイプ」から「ポータブル」を、「ストレージ種類」から「SSD」を抽出 ※5：NASは、『STORAGE』より、「LANインターフェイス」から「ワイヤード、ワイヤレス、他LAN」を抽出 ※6：有線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「有線」を抽出
※7：無線中継機は、『アクセスポイント』より集計 ※8：外付けDVDは、『DVDドライブ』より、「本体タイプ」から「外付けタイプ」を抽出

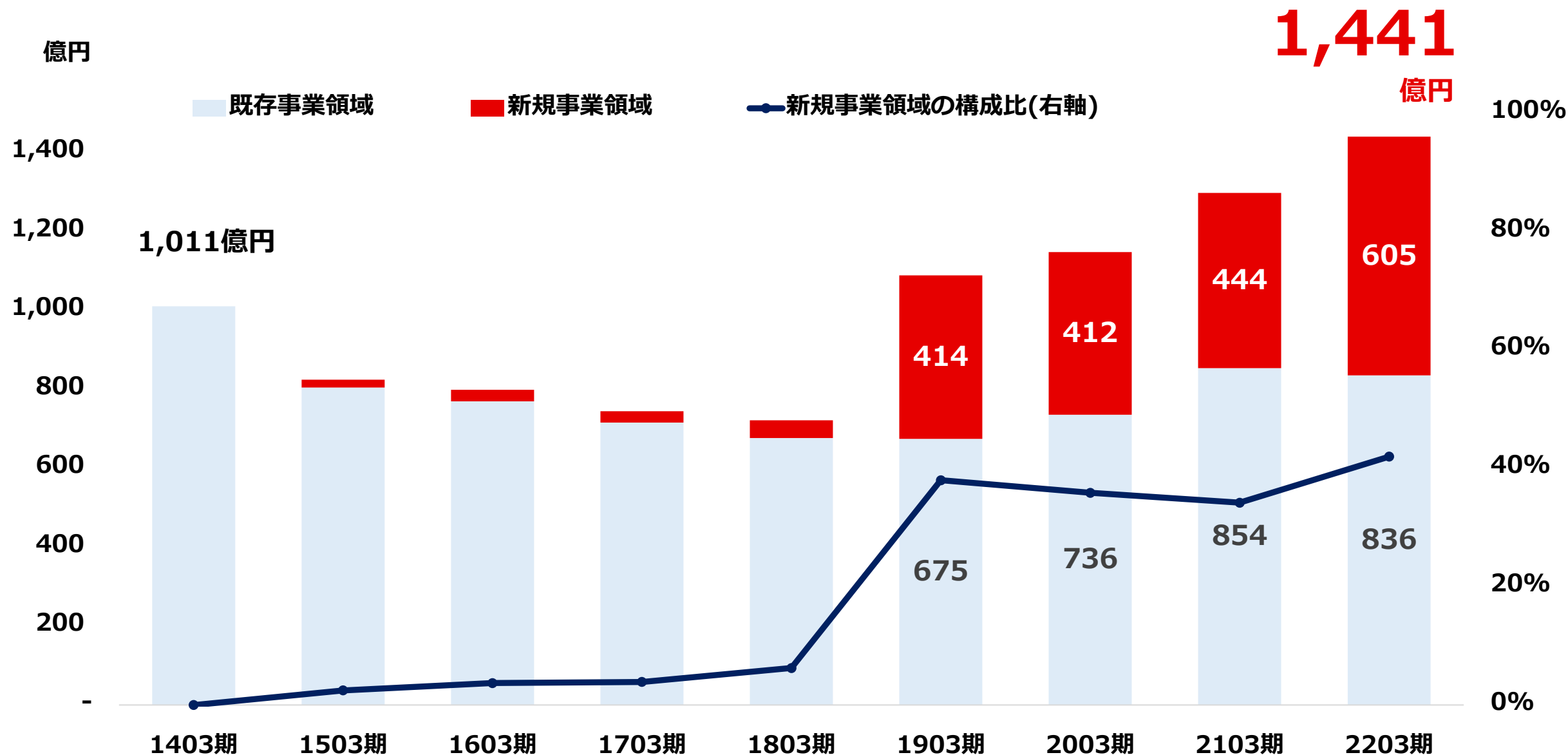
全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ（2021年1月～2021年12月までのデータを元に集計）

※メーカー別販売数量シェア

5. 参考資料

既存事業領域・新規事業領域の連結売上高

メルコグループ

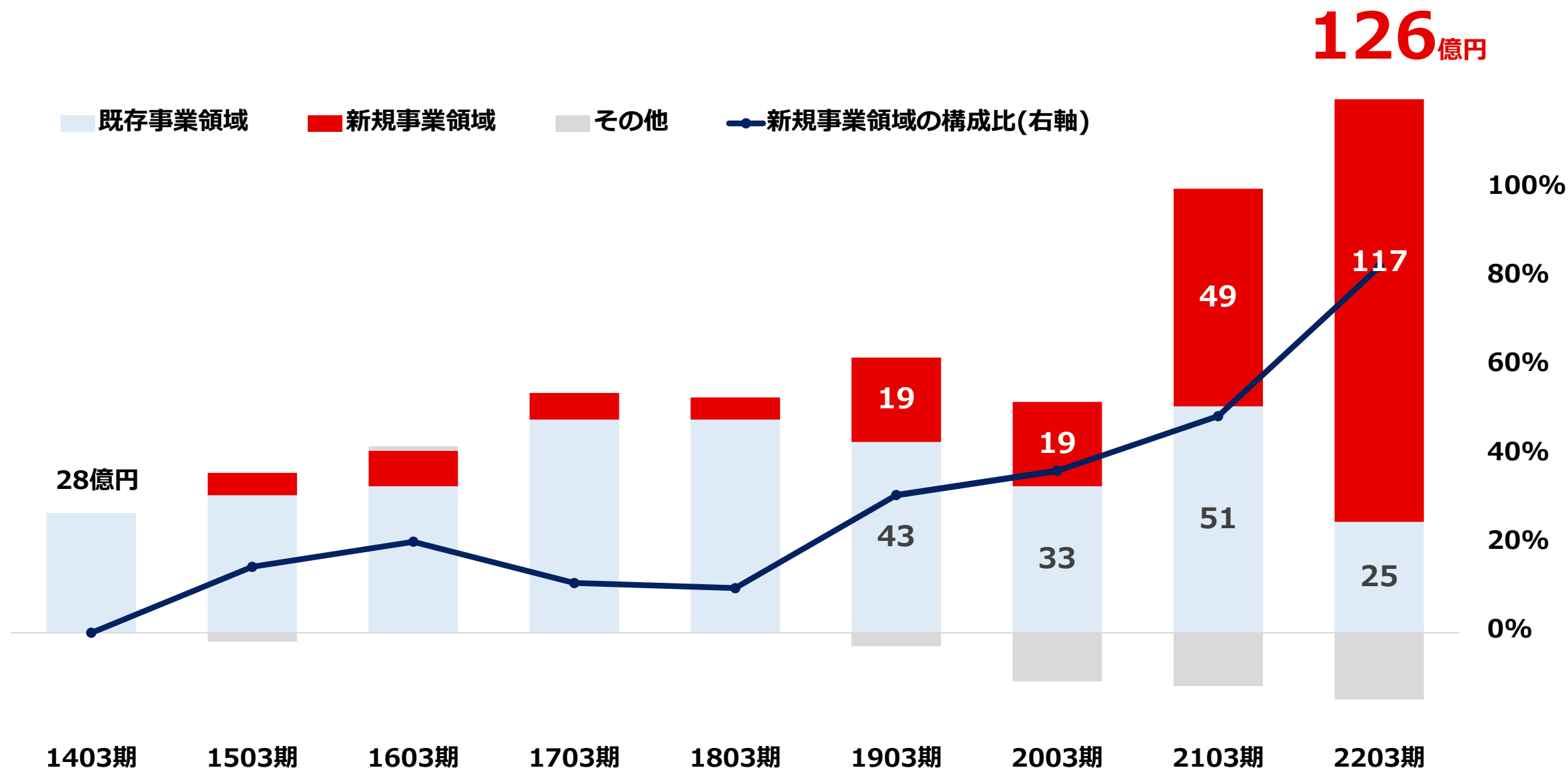


※既存事業領域：パソコン周辺機器事業、 新規事業領域：2014年以降に開始した新規事業領域等

※億円未満は切り捨てて表示しております。

既存事業領域・新規事業領域の連結営業利益

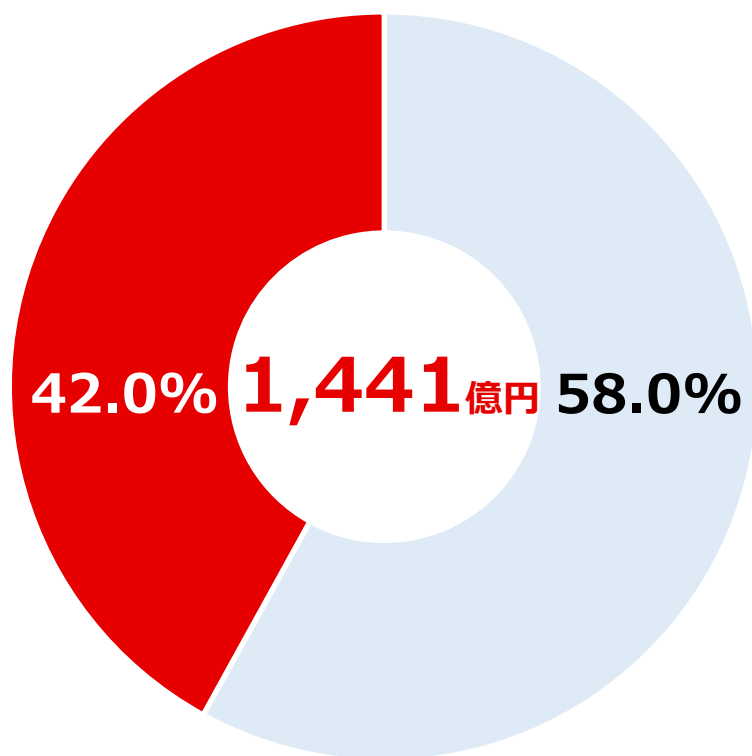
メルコグループ



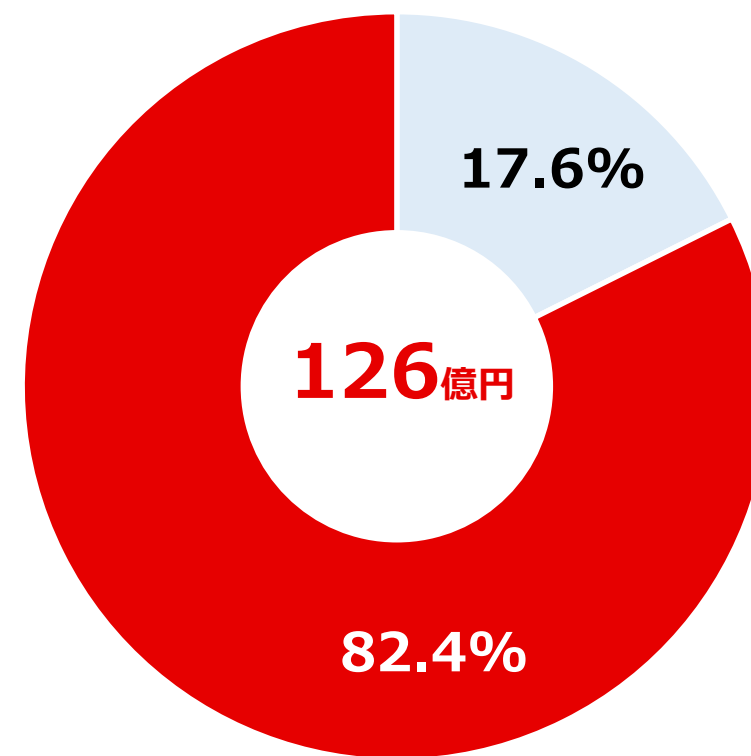
※既存事業領域：パソコン周辺機器事業、 新規事業領域：2014年以降に開始した新規事業領域等、 その他：当社グループ全体に関する本社費用およびセグメント間取引消去

※億円未満は切り捨てて表示しております。

2022年3月期
連結売上高



2022年3月期
連結営業利益

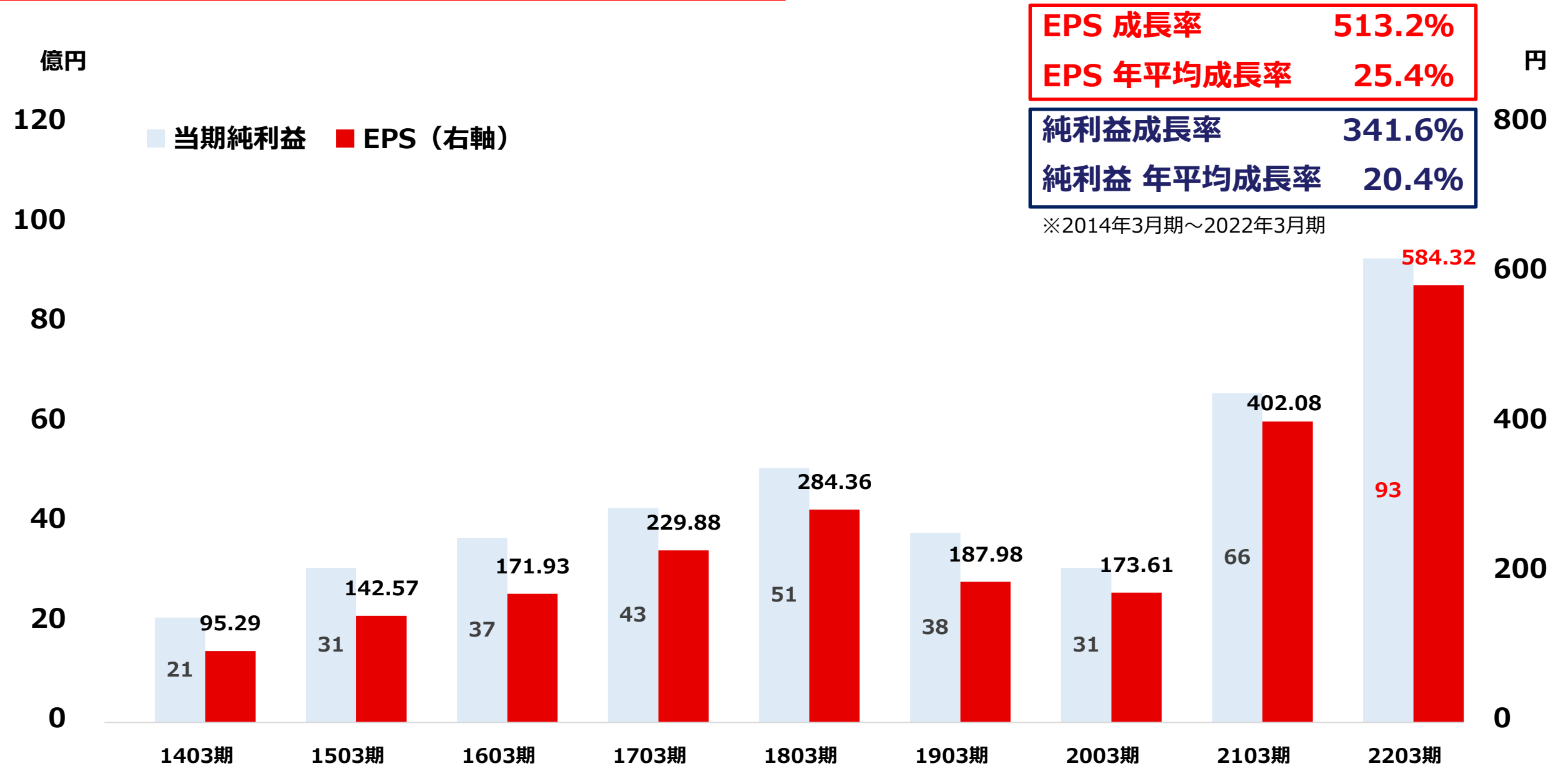


■ 既存事業領域 ■ 新規事業領域

※既存事業領域：パソコン周辺機器事業、新規事業領域：2014年以降に開始した新規事業領域等

※億円未満は切り捨てて表示しております。

当期純利益 / EPS 推移

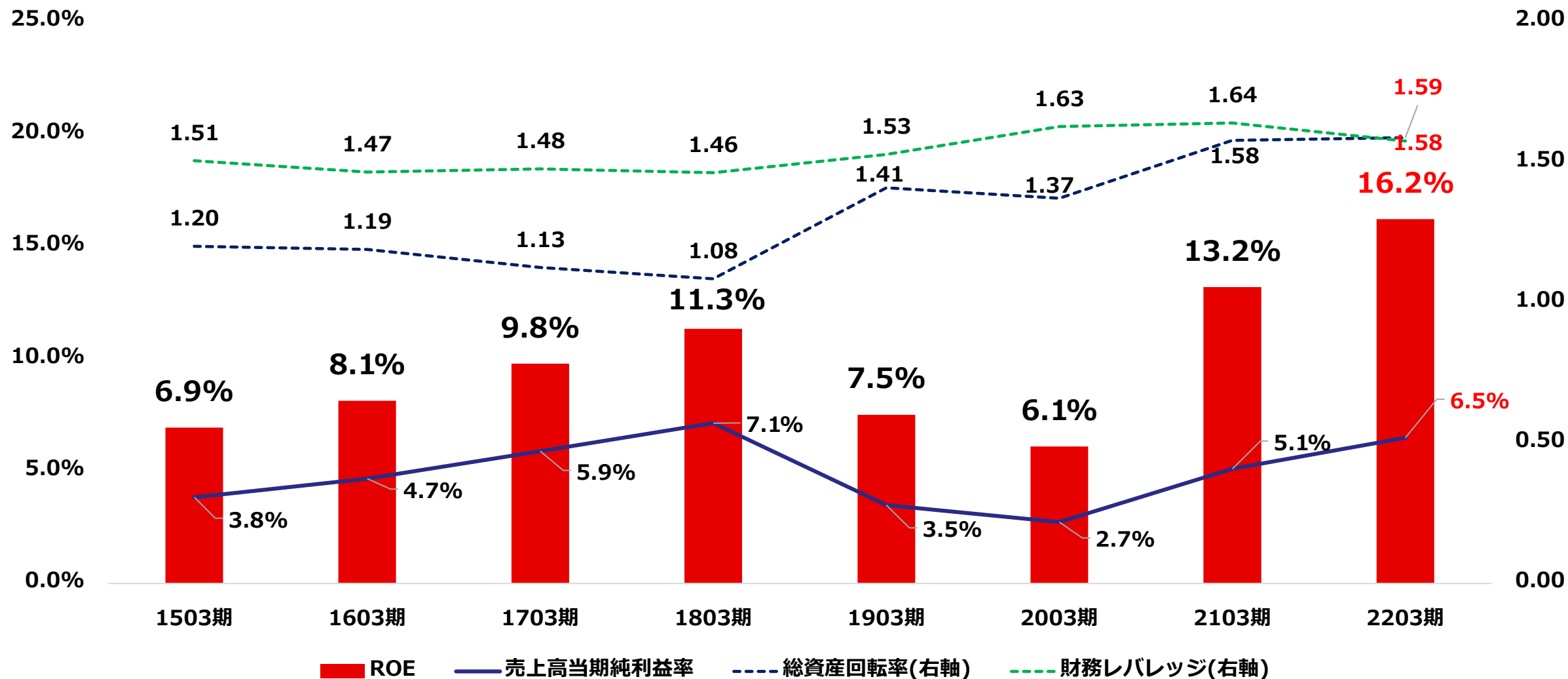


EPS 成長率	513.2%
EPS 年平均成長率	25.4%

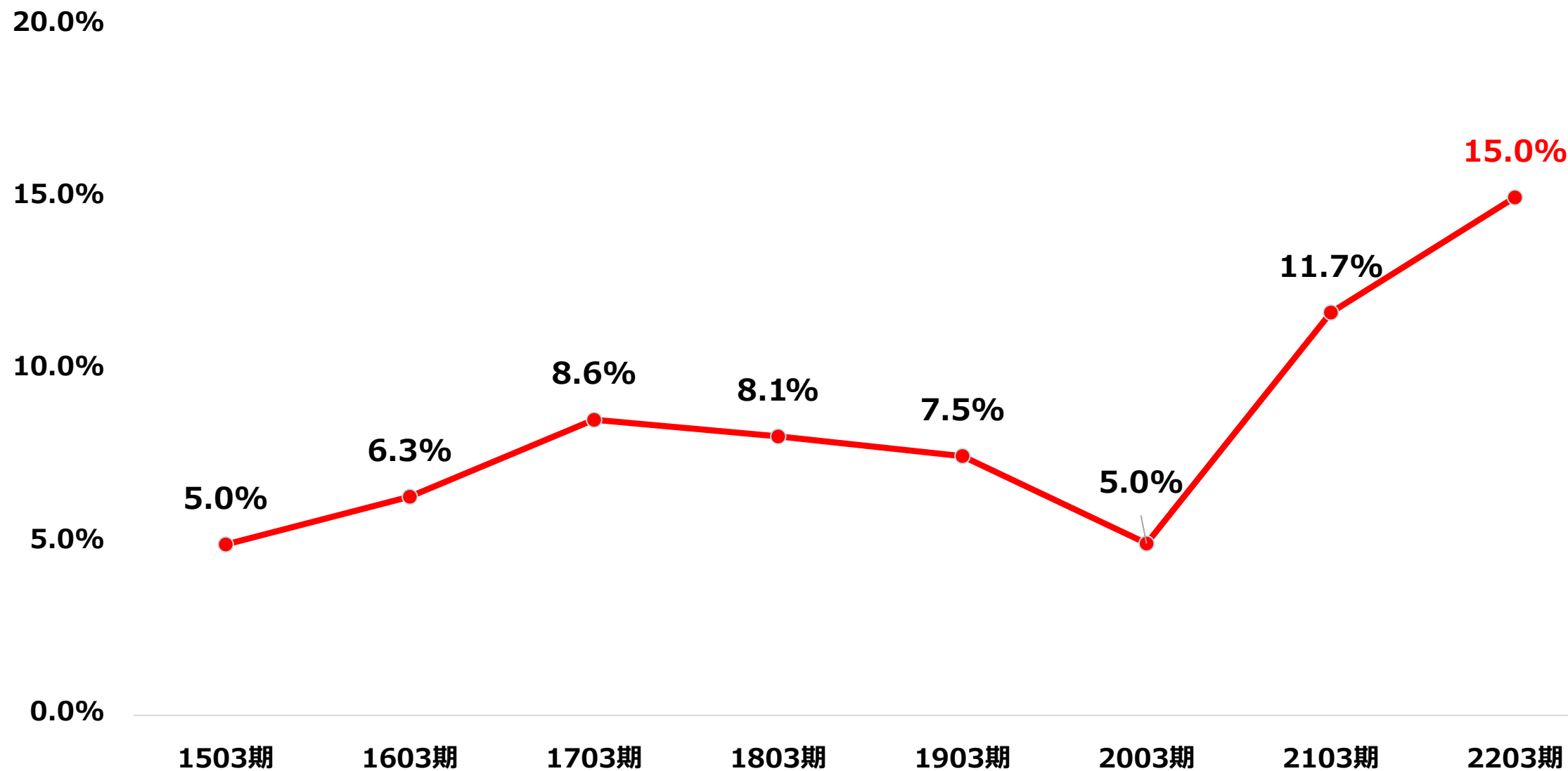
純利益成長率	341.6%
純利益 年平均成長率	20.4%

※2014年3月期～2022年3月期

※億円未満は切り捨てて表示しております。



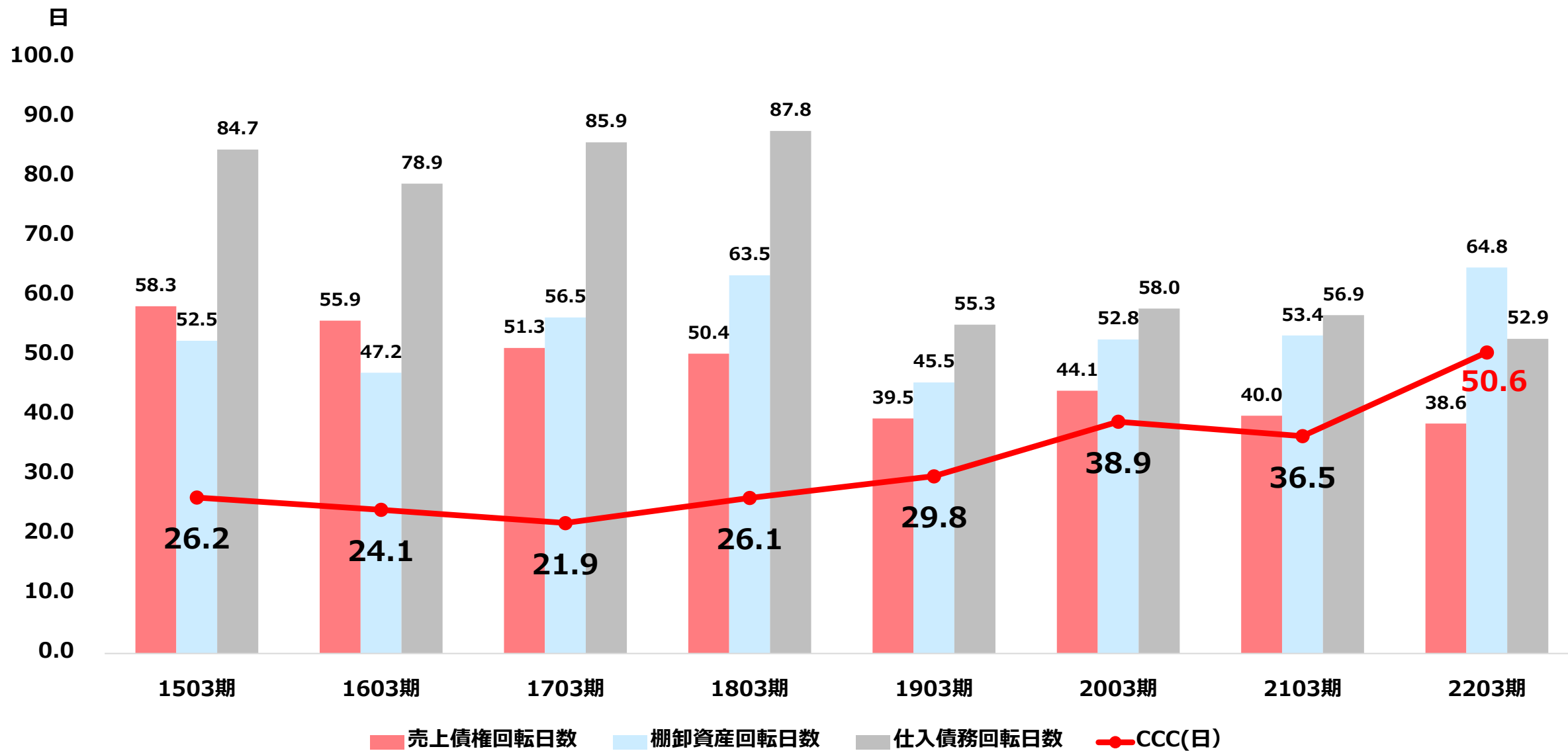
※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)
 ※売上高当期純利益率 = 当期純利益 ÷ 売上高 総資産回転率 (回) = 売上高 ÷ 総資産 (期首・期末平均) 財務レバレッジ (倍) = 総資産 (期首・期末平均) ÷ 自己資本 (期首・期末平均)
 ※2019年3月期より「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日改正)を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、2018年3月期以前のROEは、遡及修正後の数値に基づき計算しております。



※ROIC=税引後営業利益÷投下資本（期首・期末平均） 投下資本=株主資本+有利子負債 税引後営業利益は、法定実効税率（東京都）を使用して算出しております。

キャッシュコンバージョンサイクル 推移

メルコグループ

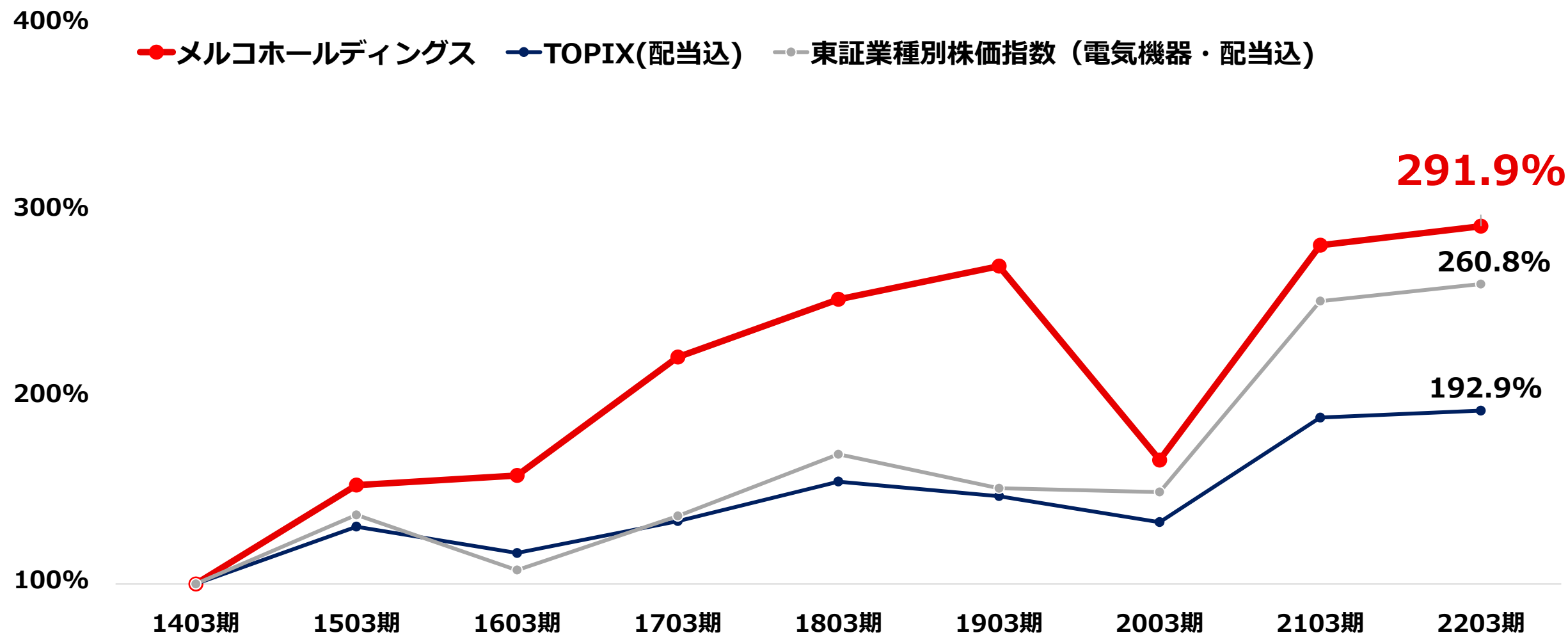


※キャッシュコンバージョンサイクル(CCC) = 売上債権回転期間 + 棚卸資産回転期間 - 仕入債務回転期間

売上債権回転期間(日) = 売上債権 ÷ 売上高 × 365

棚卸資産回転期間(日) = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365

仕入債務回転期間(日) = 仕入債務 ÷ 売上原価 × 365



※2014年3月31日の終値を100とした配当込株価(指数)
 ※2022年3月期年間配当金110円で計算

- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社メルコホールディングス IR部

TEL : 050-5830-8865 / FAX : 050-5830-8867

E-mail : ir@melcoinc.co.jp